



# 株主のみなさまへ

第86期中間期

平成21年4月1日～平成21年9月30日



## 第86期中間期

### 目次

P.2 株主のみなさまへ

P.3 営業の概況

P.8 営業成績

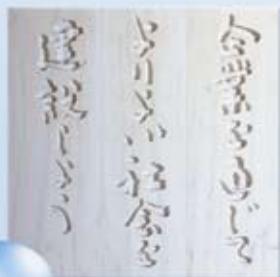
P.15 トピックス

P.18 株式の概況

P.20 会社概要

### [社是]

企業を通じてよりよい社会を建設しよう



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社第86期中間期(第2四半期累計期間:平成21年4月1日～平成21年9月30日)の連結業績の概要をここにご報告申し上げます。

当中間期の連結売上高は、553億7千2百万円にとどまり、前年同期比では需要の減少と価格の低下により22.1%減となりましたが、昨秋以降の世界同時不況による売上高の減少傾向には歯止めがかかり、当連結会計年度に入り増加に転じました。

利益面では、原燃料価格が前年同期と比べ低水準で推移したことに加え、不況対策を継続しグループをあげてコストダウンに努めました結果、営業利益は22億4千7百万円(前年同期比13.0%増)となりました。一方、経常利益は持分法投資利益がマイナスに転じたことや為替差益の減少により21億6千1百万円(前年同期比6.8%減)、純利益は少数株主利益の影響もあり8億7千1百万円(前年同期比27.7%減)にとどまりました。

中間配当金につきましては、まことに申し訳なく存じますが、昨年の中間配当金に比べ1株当たり2円減配し、本年6月に実施いたしました期末配当金と同様1株当たり5円50銭とさせていただきます。

さて、当期のわが国経済は、政府の緊急経済対策の効果もあり、一部に景気持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢の悪化を受け個人消費が低迷するとともに設備投資も低水準で推移するなど、依然として厳しい状況が続いています。

化学業界におきましても、需要は回復傾向にあるものの、ナフサ価格が再び上昇傾向に転じるなど、経営環境は厳しい状況にあります。

このような環境下において、当社グループは、損益分岐点を引き下げ利益を確保できる体質を構築するとともに、原料価格の動向に適切に対応し、利益確保に努めてまいり所存であります。

株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

代表取締役社長

家永昌明



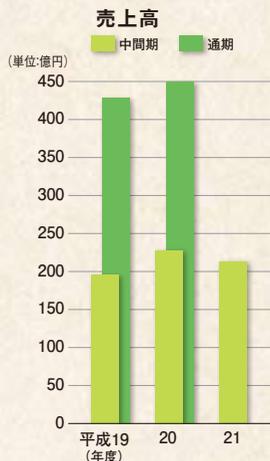
(注)当連結会計年度より、従来の化学的組成に基づく製品分類から、製品が使用される用途に基づく製品分類に変更しています。

## 生活・健康産業関連

生活産業関連分野は、液体洗剤用原料が液体洗剤の普及により売り上げを伸ばしましたが、化粧品用界面活性剤やポリエチレングリコールが景気後退の影響により低調な売上高となりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が、海外では紙おむつなどの需要増により売り上げを伸ばしましたが、国内は余り伸びず売上高は停滞しました。一方、新型インフルエンザの流行により殺菌剤の売り上げが伸びました。

以上の結果、当分野全体の売上高は212億7千3百万円(前年同期比6.7%減)となりました。



台所用洗剤に



紙おむつに

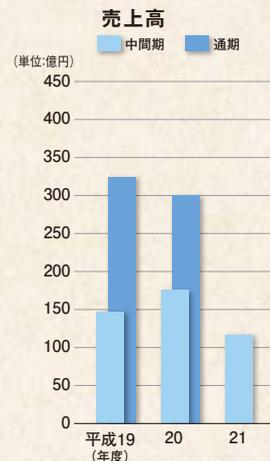
### 主な製品

- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
- ヘアケア製品用界面活性剤
- 高吸水性樹脂
- 人工腎臓用ポッティング材
- 医薬品原料
- 殺菌消毒剤・抗菌剤

## 機械・輸送機産業関連

機械・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われる新規高機能ポリウレタンフォーム原料がその特徴を生かして売り上げを伸ばしましたが、自動車内装表皮材用ウレタンビーズや汎用ポリウレタンフォーム原料および潤滑油添加剤は自動車減産の影響を受け、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は116億3千9百万円(前年同期比33.7%減)となりました。



自動車内装表皮材に



無段変速機の潤滑油に

### 主な製品

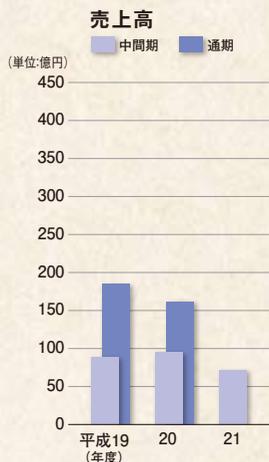
- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
- ポリウレタンフォーム原料
- 潤滑油添加剤
- 燃料油添加剤
- デザインモデル製作用盛り付け樹脂

## プラスチック・繊維産業関連

プラスチック産業関連分野は、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤や合成樹脂着色用の顔料分散剤が景気後退の影響により低調な売上高となりました。

繊維産業関連分野は、自動車用エアバッグ、シートベルト等の産業資材用繊維薬剤やガラス繊維用接着剤が自動車減産の影響により、また、炭素繊維用薬剤も需要の停滞により売上高が減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は72億2千2百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

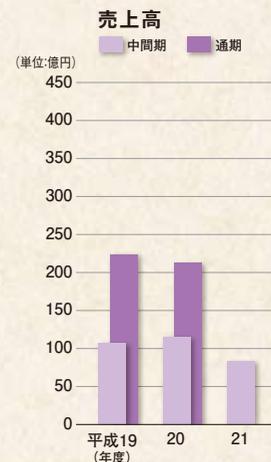


## 情報・電気電子産業関連

情報産業関連分野は、重合トナー中間体用ポリエステルビーズや粉砕トナー用バインダーがコピーの削減等による落ち込みを受けて、低調な売上高となりました。

電気電子産業関連分野は、シリコンウエハ製造用薬剤が海外の需要の急減により、また、アルミ電解コンデンサ用電解液も家電業界の不況の影響を受け、売上高が減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は84億1千4百万円（前年同期比27.0%減）となりました。



電子部品などの搬送材料に



シートベルトの製造に



複写機のトナーに



電気二重層コンデンサ用電解液に

### 主な製品

- 永久帯電防止剤
- 顔料分散剤
- 樹脂改質剤
- 塗料用樹脂

- 繊維製造用薬剤
- ガラス繊維用薬剤
- 人工・合成皮革用ウレタン樹脂

### 主な製品

- 重合トナー中間体
- トナーバインダー
- アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電気二重層コンデンサ用電解液

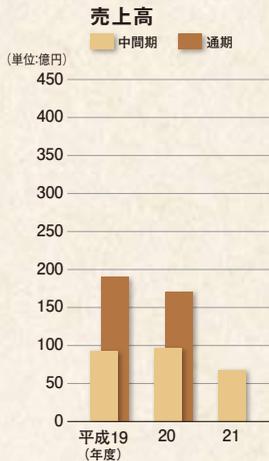
- 半導体加工用薬剤
- UV・EB硬化樹脂

環境・住設関連・その他

環境関連分野は、カチオンモノマーが拡販により売り上げを伸ばしましたが、カチオン系高分子凝集剤は製紙業界の減産などにより低調に推移し、売上高は微減となりました。

住設関連分野は、住宅用断熱材に用いられるポリウレタンフォーム原料や建築シーラント用原料が住宅建設の低迷により売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は68億2千2百万円（前年同期比29.5%減）となりました。



都市廃水処理に

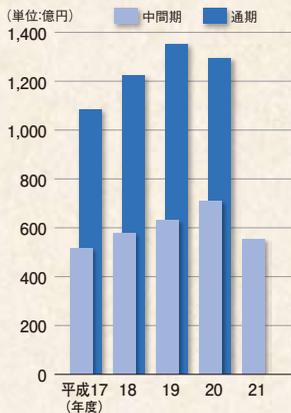


住宅の断熱材に

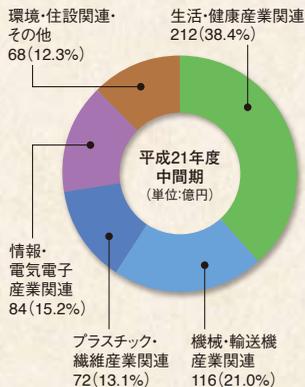
主な製品

- 廃水処理用高分子凝集剤
- ポリウレタン断熱材原料
- 泥水用薬剤
- 反応性ホットメルト接着剤
- 水膨張性シーリング材

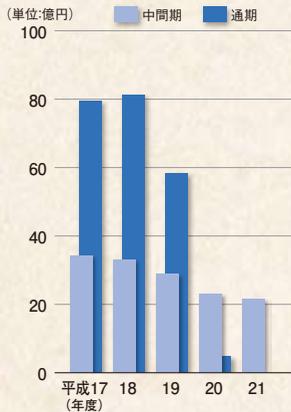
売上高の推移



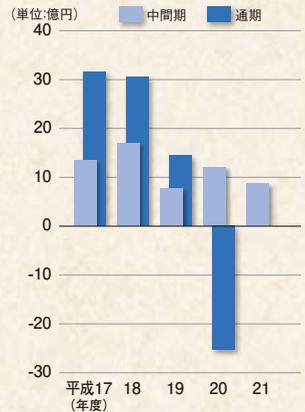
分野別売上高比率



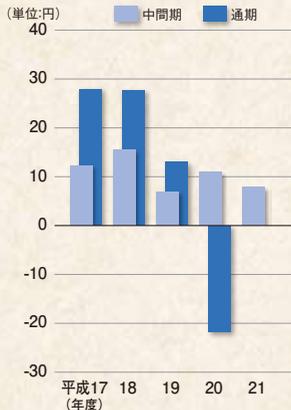
経常利益の推移



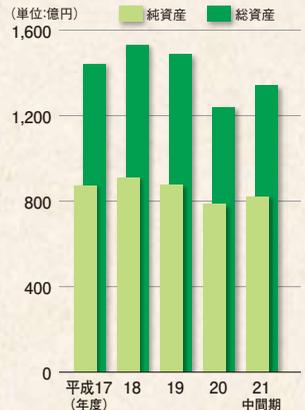
当期(中間期)純利益の推移



1株当たり当期(中間期)純利益の推移



総資産と純資産の推移



第2四半期貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	74,011	61,065	52,835
現金及び預金	9,974	15,122	7,031
受取手形及び売掛金	40,253	29,970	29,225
たな卸資産	21,212	13,997	14,283
繰延税金資産	1,226	1,108	1,086
その他	1,374	888	1,231
貸倒引当金	△30	△22	△22
固定資産	76,347	72,981	71,066
有形固定資産	52,632	49,938	50,614
建物及び構築物	15,436	13,951	14,248
機械装置及び運搬具	23,319	21,191	22,195
土地	7,703	7,634	7,604
建設仮勘定	4,295	5,591	4,760
その他	1,878	1,569	1,804
無形固定資産	1,132	1,081	1,060
投資その他の資産	22,583	21,961	19,391
投資有価証券	19,715	20,079	16,458
長期貸付金	10	5	9
繰延税金資産	1,784	872	1,917
その他	1,130	1,063	1,063
貸倒引当金	△57	△59	△57
<b>資産合計</b>	<b>150,359</b>	<b>134,046</b>	<b>123,901</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	44,689	33,257	26,013
支払手形及び買掛金	30,016	18,760	13,342
短期借入金	2,308	5,720	3,339
一年以内返済予定長期借入金	1,165	1,007	1,091
未払費用	2,823	2,459	1,993
未払法人税等	1,192	765	93
賞与引当金	1,355	1,426	1,212
役員賞与引当金	39	24	41
設備関係支払手形	2,927	1,619	3,283
その他	2,862	1,474	1,616
固定負債	20,138	18,543	19,330
社債	10,000	10,000	10,000
長期借入金	3,495	2,359	2,946
退職給付引当金	4,905	4,472	4,648
役員退職慰労引当金	847	888	887
その他	890	823	848
<b>負債合計</b>	<b>64,828</b>	<b>51,801</b>	<b>45,344</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	81,695	77,517	77,257
資本金	13,051	13,051	13,051
資本剰余金	12,197	12,194	12,194
利益剰余金	62,120	57,951	57,686
自己株式	△5,672	△5,679	△5,675
評価・換算差額等	1,401	2,256	△792
その他有価証券評価差額金	1,754	3,353	674
為替換算調整勘定	△352	△1,096	△1,466
少数株主持分	2,434	2,471	2,092
<b>純資産合計</b>	<b>85,531</b>	<b>82,245</b>	<b>78,557</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>150,359</b>	<b>134,046</b>	<b>123,901</b>

第2四半期（累計）損益計算書（連結）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	71,046	55,372	129,555
売上原価	59,544	44,475	110,882
<b>売上総利益</b>	<b>11,502</b>	<b>10,897</b>	<b>18,672</b>
販売費及び一般管理費	9,513	8,649	18,032
<b>営業利益</b>	<b>1,988</b>	<b>2,247</b>	<b>640</b>
営業外収益	604	418	1,072
受取利息	(45)	(18)	(80)
受取配当金	(187)	(148)	(337)
持分法による投資利益	(86)	(—)	(204)
為替差益	(75)	(10)	(—)
その他	(210)	(241)	(450)
営業外費用	274	503	1,214
支払利息	(157)	(137)	(303)
為替差損	(—)	(—)	(646)
持分法による投資損失	(—)	(243)	(—)
その他	(116)	(122)	(265)
<b>経常利益</b>	<b>2,318</b>	<b>2,161</b>	<b>498</b>
特別利益	—	11	143
特別損失	215	146	2,557
<b>税金等調整前第2四半期純利益(△純損失)</b>	<b>2,103</b>	<b>2,027</b>	<b>△1,915</b>
法人税、住民税及び事業税	868	739	500
少数株主利益	29	416	△15
<b>第2四半期(当期)純利益(△純損失)</b>	<b>1,205</b>	<b>871</b>	<b>△2,400</b>

第2四半期（累計）キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第2四半期(当期)純利益(△純損失)	2,103	2,027	△1,915
減価償却費	3,917	3,894	8,510
減損損失	—	—	1,170
持分法による投資損益(△利益)	△86	243	△204
資産増減等	△1,628	5,547	873
法人税等の支払額	△325	410	△1,178
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,979</b>	<b>12,123</b>	<b>7,255</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得・売却	△4,349	△4,799	△10,128
貸付・回収等	△338	△5	△301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,688</b>	<b>△4,804</b>	<b>△10,430</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△827	△606	△1,655
自己株式の取得・売却	△3	△4	△9
借入・返済等	△109	1,421	600
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△941</b>	<b>811</b>	<b>△1,064</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△55	△358
<b>現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>△1,653</b>	<b>8,075</b>	<b>△4,596</b>
現金及び現金同等物の期首残高	11,482	7,031	11,482
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	145	—	145
<b>現金及び現金同等物の第2四半期末残高</b>	<b>9,974</b>	<b>15,106</b>	<b>7,031</b>

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期（累計）株主資本等変動計算書（連結）

（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
前期末残高	13,051	12,194	57,686	△5,675	77,257	674	△1,466	△792	2,092	78,557
当第2四半期中の変動額										
剰余金の配当			△606		△606					△606
第2四半期純利益			871		871					871
自己株式処分差益		△0			△0					△0
自己株式の取得				△4	△4					△4
自己株式の処分				0	0					0
株主資本以外の項目の当第2四半期中の変動額（純額）						2,678	370	3,048	378	3,427
当第2四半期中の変動額合計	—	△0	264	△3	260	2,678	370	3,048	378	3,687
当第2四半期末残高	13,051	12,194	57,951	△5,679	77,517	3,353	△1,096	2,256	2,471	82,245

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	67,110	54,201	44,565
現金及び預金	7,880	12,453	4,301
受取手形	183	138	112
売掛金	33,175	23,825	22,946
有価証券	100	—	—
未収法人税等	—	—	491
未収消費税等	—	—	73
たな卸資産	14,224	9,616	9,140
繰延税金資産	913	880	880
その他	10,661	7,307	6,638
貸倒引当金	△29	△20	△19
<b>固定資産</b>	70,377	70,222	68,654
<b>有形固定資産</b>	37,437	37,784	38,338
建物	8,866	8,531	8,683
機械装置	14,791	13,569	14,627
土地	7,133	7,128	7,133
建設仮勘定	3,203	5,508	4,542
その他	3,441	3,045	3,351
<b>無形固定資産</b>	432	462	430
<b>投資その他の資産</b>	32,507	31,975	29,886
投資有価証券	10,541	11,475	8,746
関係会社株式・出資金	17,472	17,784	16,790
その他	4,551	2,774	4,406
貸倒引当金	△57	△59	△57
<b>資産合計</b>	<b>137,487</b>	<b>124,423</b>	<b>113,220</b>
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	39,896	27,639	19,502
支払手形	627	311	341
買掛金	28,689	18,357	11,750
短期借入金	—	2,000	—
未払費用	2,153	1,825	1,385
未払法人税等	843	308	—
賞与引当金	1,121	1,190	1,006
役員賞与引当金	33	18	35
その他	6,427	3,628	4,984
<b>固定負債</b>	16,696	16,236	16,435
社債	10,000	10,000	10,000
退職給付引当金	4,905	4,472	4,648
役員退職慰労引当金	847	888	887
その他	943	876	899
<b>負債合計</b>	<b>56,593</b>	<b>43,876</b>	<b>35,937</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	79,144	77,197	76,611
資本金	13,051	13,051	13,051
資本剰余金	12,197	12,194	12,194
利益剰余金	59,569	57,631	57,041
自己株式	△5,672	△5,679	△5,675
評価・換算差額等	1,749	3,349	670
<b>純資産合計</b>	<b>80,894</b>	<b>80,547</b>	<b>77,282</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>137,487</b>	<b>124,423</b>	<b>113,220</b>

第2四半期（累計）損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
<b>売上高</b>	53,032	38,530	93,027
売上原価	44,080	31,109	79,536
<b>売上総利益</b>	8,952	7,421	13,490
販売費及び一般管理費	7,112	6,486	13,421
<b>営業利益</b>	1,840	935	69
<b>営業外収益</b>	1,142	997	1,915
受取利息	(70)	(35)	(120)
受取配当金	(686)	(584)	(1,165)
為替差益	(90)	(—)	(—)
その他	(294)	(377)	(629)
<b>営業外費用</b>	127	273	379
支払利息	(18)	(17)	(35)
為替差損	(—)	(151)	(104)
その他	(108)	(104)	(238)
<b>経常利益</b>	2,854	1,660	1,605
特別利益	—	11	93
特別損失	201	130	1,330
<b>税引前第2四半期純利益</b>	2,653	1,541	369
法人税、住民税及び事業税	758	345	173
<b>第2四半期（当期）純利益</b>	<b>1,895</b>	<b>1,196</b>	<b>195</b>

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

## 創立60周年記念事業「三洋化成の森」づくり活動に関する協定を締結

当社では、環境と安全の確保を経営の優先的重要課題と位置づけ、省エネの推進や温暖化ガス排出の極小化を考慮した製品設計に注力しています。また、社員個人の生活においても、温暖化防止につながる省エネ・省資源の実践に取り組んでいます(日本化学工業協会から「ABC活動努力賞」を受賞)。

当社は、本年11月1日に創立60周年を迎えたのを機に、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として「京都モデルフォレスト運動」※の趣旨に賛同し、京都府和束町湯船地区の森林において森林利用保全活動(「三洋化成の森」づくり活動)を行います。

取り組みに先立ち、10月5日、京都府公館「レセプションホール」において、社団法人京都モデルフォレスト協会、和束町湯船財産区管理会、和束町および京都府と「森林の利用保全に関する協定」を締結しました。

今回締結しました協定は、「京都モデルフォレスト運動」に参加し、本年度から10年間、森林の整備に要する資金を当社が提供するとともに、社団法人京都モデルフォレスト協会などからのご指導、ご協力を得ながら、当社の社員やその家族を中心としたボランティア活動によって「三洋化成の森」づくり活動に取り組むというもので、この活動を通じて、環境保護・社会貢献活動を積極的に展開していきます。



「森林の利用保全に関する協定」調印式

※京都府および社団法人京都モデルフォレスト協会が推進している、森の恵みを受けている府民みんなで京都の森を守り育てる取り組み



「三洋化成の森」づくり活動エリア

## CSRガイドラインを制定

本年8月、当社グループが取り組むべきCSR活動のガイドライン11項目と、各項目の責任者を決定しました。

このCSRガイドラインに基づいて、当社グループ全体で組織的、計画的にCSR活動に取り組むとともに、本年4月に設置されたCSR委員会およびCSR推進部が進捗状況をフォローアップして、当社グループのCSR活動を強化していきます。

### CSRガイドライン11項目

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| ① 基本姿勢          | ⑦ リスクマネジメント推進と内部統制システム強化 |
| ② コンプライアンスの徹底   | ⑧ ステークホルダーとの対話促進         |
| ③ 安全・防災の徹底      | ⑨ 人材の確保・育成と人権推進          |
| ④ 社会に貢献する製品開発促進 | ⑩ グリーン調達の推進              |
| ⑤ PLおよび品質管理の向上  | ⑪ 社会貢献活動の推進              |
| ⑥ 環境保護への取り組み強化  |                          |

## 機能性タンパク質の技術導入

当社は、米国バイオベンチャーのプロテイン・ポリマー・テクノロジー社(PPTI)との間でライセンス契約を締結し、同社から傷(創傷)の治療に高い効果を持つ機能性タンパク質(シルクエラスチン)の技術導入を行いました。

シルクエラスチンは、天然由来のタンパク質であるエラスチンとシルクフィブロインを模倣し、遺伝子組み換えによって作成された人工タンパク質です。シルクエラスチンの特長は、細胞親和性(炎症を引き起こさずに皮膚になじむ特性)が高いことと、弾性(皮膚にハリを与える特性)に富むため、皮膚のひきつれを起こしにくいことです。このため、切り傷、やけどなどの治療に使われる軟膏や絆創膏といった創傷治療剤などに適しています。

当社では、情報・電子、自動車と並んで、環境・バイオ関連分野を重点開発分野に掲げています。今回導入した技術をベースにして独自の製品開発を行い、シルクエラスチン応用製品を環境・バイオ関連ビジネスの新しい柱の一つに育てていきたいと考えています。

## 生産革新を5カ年計画でスタート

当社では、世界同時不況後の景気回復を見据えた中長期的な構造改善策を各部門で立案し、企業体質の改革と基盤の強化による企業収益の向上に向けたチャレンジを進めています。

そうした動きのなかで、生産部門では5カ年計画で抜本的な生産革新に向けた活動を開始しました。現状を可視化(見える化)して、生産活動におけるムダ・ムリ・ムラを徹底的に洗い出し、それらの問題を解決するために標準化や設備面での改善をしていくことで、生産効率の倍増やユーティリティー費用削減などの目標を達成する予定です。また、温暖化ガスをはじめとする環境負荷についても、積極的に削減活動を展開していきます。

## BCPの一環として免震化工事に着手

当社は、BCP(事業継続計画)の一環として、大地震による社屋の倒壊などによって生じる本社機能や、事業活動レベルの低下を最小限にとどめるべく、本社棟本館(京都市東山区)の免震化工事に着手しました。

BCPとは、大地震等の災害にあっても事業活動レベルの低下を最小限に抑え、事業活動を可能な限り短期間で回復するための事前計画です。免震化工事以外にも、大地震を想定した名古屋工場のBCP策定、新型インフルエンザ対策などを推進しています。



免震化工事中の本社棟本館

## 発行済株式総数および株主数(平成21年9月30日現在)

発行済株式総数…………… 117,673千株

株主数…………… 8,593名

(注)1千株未満は切り捨て(以下同じ)。

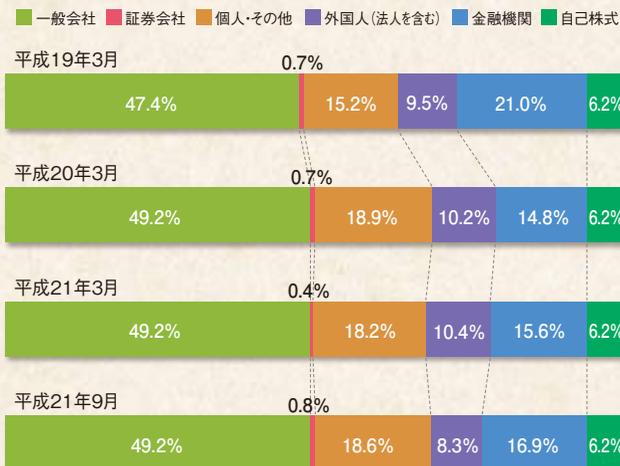
## 大株主(平成21年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	21,431	19.4
東レ株式会社	19,133	17.3
株式会社日本触媒	5,529	5.0
新日本石油株式会社	5,306	4.8
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	3,849	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,782	3.4
全国共済農業協同組合連合会	2,546	2.3
三洋化成従業員持株会	2,106	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,747	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,469	1.3

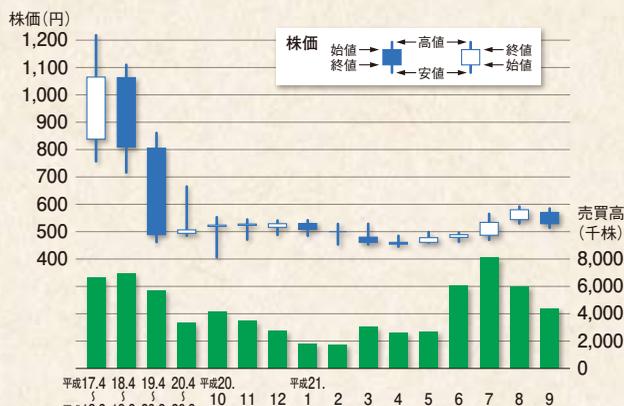
(注)1.上記のほかに、自己株式7,343千株があります。

2.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

## 株主構成(所有者別持株比率)の推移(平成21年9月30日現在)



## 株価・売買高の推移



(注) 1. 株価・売買高は東京証券取引所によるもの。  
2. 平成17年4月～平成20年9月の売買高は月平均。

## 株主メモ

決算期	3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号

電話照会先  
郵便物送付先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに  
日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告掲載…………… ホームページ <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>  
上場証券取引所…………… 東京・大阪(コード番号 4471)

住所変更、配当金の受取方法の指定、単元未満株式の  
買取・買増等のお申出先について

株主様が口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

これまでどおり、株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 配当金の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金額収書にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付資料としてご使用いただくことができます。

## 概況 (平成21年9月30日現在)

創立	昭和24年11月1日
資本金	13,051,179,427円
発行可能株式総数	257,956,000株
発行済株式総数	117,673,760株
従業員数	1,297名(連結 1,793名)

## 役員 (平成21年9月30日現在)

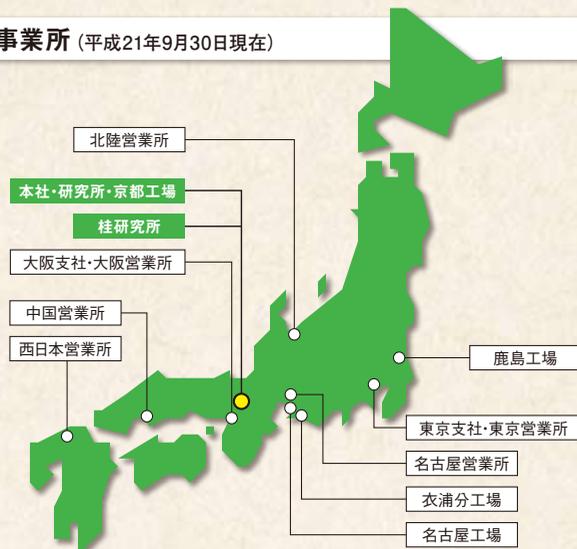
取締役 取締役会議長	松井 英樹
代表取締役社長 兼執行役員社長	家永 昌明
代表取締役 兼執行役員副社長	増田 房義
取締役 兼専務執行役員	山本 嘉英
取締役 兼専務執行役員	本庄 政昭
取締役 兼専務執行役員	平川 一幸
取締役 兼常務執行役員	廣瀬 恒治
取締役 兼執行役員	矢野 達司
監査役(常勤)	秋山 一
監査役(常勤)	濱 勲
監査役	清水 順三
監査役	上野 観
常務執行役員	宇佐 美健
常務執行役員	安藤 孝夫
常務執行役員	吉野 隆
執行役員	川井 実
執行役員	東 寛
執行役員	別所 利治
執行役員	堀井 啓右
執行役員	和多田 修

(注) 1. 取締役 松井 英樹氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役 濱 勲氏、清水 順三氏および上野 観氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 会計監査人 (平成21年9月30日現在)

新日本有限責任監査法人

## 事業所 (平成21年9月30日現在)



### 【国内事業所】

- 本社・研究所 [京都市東山区]
- 桂研究所 [京都市西京区]
- 東京支社 [東京都中央区]
- 大阪支社 [大阪市中央区]
- 営業所: 東京 [東京都中央区]・大阪 [大阪市]・名古屋 [名古屋]・北陸 [富山市]・中国 [広島市]・西日本 [福岡市]
- 工場: 名古屋 [愛知県東海市]・衣浦分工場 [愛知県半田市]・鹿島 [茨城県神栖市]・京都 [京都市]

### 【海外事業拠点・関係会社】

- 1 三洋化成精細化学品(南通)有限公司  
三大雅精細化学品(南通)有限公司  
[中国 南通市]
- 2 三洋化成(上海)貿易有限公司  
サンノブコ(上海)貿易有限公司  
[中国 上海市]
- 3 韓国三洋化成株式会社  
韓国サンノブコ株式会社  
[韓国 ソウル市]
- 4 台北駐在事務所  
大祥化成股份有限公司  
[台湾 台北市]
- 5 サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド  
[タイ バンコク市]
- 6 SANAMコーポレーション  
サンヨーケミカル・アンド・レジンスLLC  
[米国 ペンシルベニア州]
- 7 サンヨーケミカル・テキサス・インダストリーズLLC  
サンライズ・ケミカルLLC  
[米国 テキサス州]
- 8 サンヨーカセイ・ド・ブラジル  
[ブラジル サンパウロ市]

## 三洋化成グループの状況 (平成21年9月30日現在)

### 【国内】

	会社名	主要な事業内容
連 結 子 会 社	サンダイヤポリマー株式会社	高吸水性樹脂の製造、販売
	サンノブコ株式会社	界面活性剤等の製造、販売
	サンケミカル株式会社	ポリウレタンフォーム原料、洗剤・香粧品原料等の製造
	サンアプロ株式会社	特殊化学品等の製造、販売
持 分 法 適 用 会 社	株式会社サン・ベトロケミカル	合成ゴム原料の製造、販売
	三洋運輸株式会社	運送業
	株式会社サンリビング	不動産業、保険代理店業
	名古屋三洋倉庫株式会社	倉庫業
	塩浜ケミカル倉庫株式会社	倉庫業

### 【海外】

	会社名	主要な事業内容
連 結 子 会 社	サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド	界面活性剤等の製造、販売
	サンナム・コーポレーション	米国子会社の統括会社 トナーバインダー、ウレタン関連製品等の販売
	サンヨーケミカル・アンド・レジンスLLC	トナーバインダー等の製造
	サンヨーケミカル・テキサス・インダストリーズLLC	ウレタン関連製品の製造
持 分 法 適 用 会 社	三洋化成精細化学品(南通)有限公司	界面活性剤等の製造、販売
	三大雅精細化学品(南通)有限公司	高吸水性樹脂の製造、販売
	三洋化成(上海)貿易有限公司	三洋化成精細化学品(南通)有限公司と三洋化成の製品の販売
持 分 法 適 用 会 社	サンライズ・ケミカルLLC	合成ゴム原料の製造、販売
そ の 他	韓国三洋化成株式会社	三洋化成の製品の販売およびマーケティング、製品開発活動、技術サービス
	サンノブコ(上海)貿易有限公司	サンノブコ(株)、三洋化成精細化学品(南通)有限公司等の製品の販売
	韓国サンノブコ株式会社	建材・セメント・モルタル・紙・塗料用の各種工業用薬剤の製造、販売
	大祥化成股份有限公司	水溶性ポリマー等の製造、販売
	サンヨーカセイ・ド・ブラジル	当社製品の製造技術・ノウハウの提供と販売活動の支援



## 三洋化成工業株式会社

### 本社・研究所

〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1  
TEL:075-541-0255(総務ダイヤルイン)

### 東京支社・東京営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6  
第10中央ビル  
TEL:03-5200-3400(総務ダイヤルイン)

### 大阪支社・大阪営業所

〒541-0053 大阪市中央区本町1-8-12  
日本生命堺筋本町ビル10階  
TEL:06-6267-3410(代表)

ホームページアドレス

<http://www.sanyo-chemical.co.jp/>



レスポンシブル・ケア®

当社は環境と安全の確保を経営の  
優先的重要課題にしています。